
海

りの。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
海

【コード】
N8223Z

【作者名】
りの。

【あらすじ】
「じみやくずはありとあらゆるところについてでも少しづつたまっていく。」

冬だというのに、とてもはつきりとした天気だった。雲と青色の空の境界線がとても明確な輪郭を持って現れていた。雲はいつものよくなべったりしたくすんだ灰色ではなく、とても白く明るくて、青い空に点々と浮遊し、それが遠くまで続いていた。風はとても冷たくそして乾いていて、ときおりものすごい速さで通り過ぎていく。重力にひっぱられた海水の塊が遙か先の水平線を作り、その水面を遠く白い太陽が照らし続ける。水平線近くのゆっくりと動く白い雲が時間を遅め音を全て吸い取っていく。残された静けさの中、風に乗りながら一羽の小さなかもめが僕の目の前で静止する。羽を広げて風を一身に受けたそのかもめは、しばらく揺れたあと、僕の目の前を静かに上昇していった。

なにも出てこない。何も出てこないけれど習慣だからこの小説を書いている。確かにいろいろな思いはある。ゴミ屑のようなね。

でもそれは…なんというか、小説では出すべきではない気持ちなんだ。つまり、僕の言う「ラグビー的」な考えに近い。すくなくとも、こつこつ描写はまだまだだと思っし、今の僕にはやっぱりこつこつ素直さが必要で、それをみんなに公開するという行為が必要なんだと思っ。

服を着る前に裸に慣れようとしている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8223z/>

海

2011年12月26日01時47分発行